

折り返し点

皆さんには、1年間で6回のチャンスがあります。それは、気持ちにスイッチを入れる機会です。1年間は、過ぎてしまえば“光陰矢の如し”です。しかし、実際には365日もあります。ずっとスイッチが入ったまま努力を続けるには、ちょっと長すぎる期間です。

そこで、何度かスイッチを入れ直す必要が出てきます。野田中学校は、3学期制の学校です。1学期が始まる時、2学期が始まる時、そして3学期が始まる時で3回のチャンスがあります。他には、新しい年を迎えた元旦、1月1日もあります。誕生日もあります。これで計5回です。

もう1回が今の時期です。日にちで言えば、10月1日です。1年間の折り返しとなる日です。1年間の半分が過ぎたところで、今までのことを振り返り、もう一度スイッチを入れ直すわけです。「よし！」と気持ちを入れるのです。

もう半分が過ぎてしまったのではなく、まだ半分もあります。思い出してみましょう。お正月には、この1年をどんな年にしようと思ったでしょうか。1年間で、どんなことをやってみようと思ったでしょうか。

4月にさかのぼります。1年生はどんな中学校生活を思い描いていたでしょうか。2年生は、自分がイメージした学校生活と比べてどうでしょうか。3年生は、あと半年という思いが強いかもしれません。

ここで、今一度心のスイッチを入れ直して、新たな気持ちで10月を迎えることは大切なことです。そうしないと、人は何となく過ごしてしまいます。目標があって、その取り組みがあって、反省まで行う。このサイクルが日々の生活を充実させることにつながります。自分の生活を振り返ったときに、自分でどう思えるかです。

来週、10月3日（月）からは、一人一人が気持ちを入れ直して学校生活を送れば、自然と野田中学校は活気あふれる魅力ある学校になっていくはずです。その中心にいるのが、生徒会新会長をはじめとした本部役員、各専門委員会の委員長、そして各学級の学級委員長と副委員長です。9月26日（月）には、それぞれ任命証を手に入れました。一番スイッチが入りやすい人たちと言えます。

1年間を前期、後期と2つに分けた場合の折り返し点にあたるこの時期は、年間6回のチャンスの中でも重要な位置を占（し）めています。ぜひ、スイッチが入った自分の気持ちを行動で表してください。

* 光陰矢の如し 月日が過ぎていくのは飛ぶ矢のように早い。歳月のたつのが早いことのたとえ。